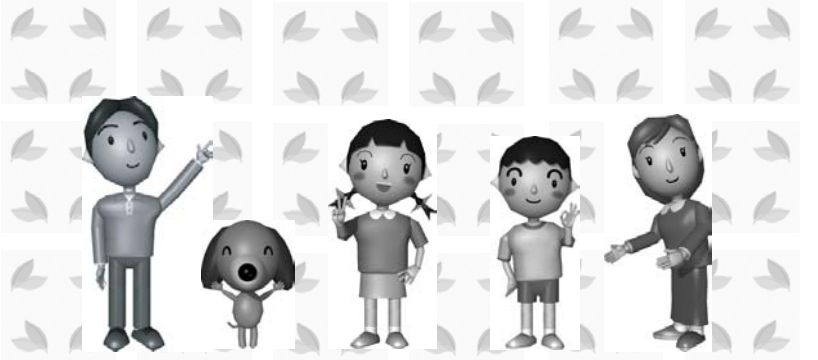


平成17年度予算のあらまし



第二中学校の体育館・武道場改築
など学習環境の充実、新八代駅周辺
の道路整備や緑の回廊線などの都市
基盤整備に重点を置いています。

予算とは…

予算とは、簡単にいえば市の家計簿のことです。歳入は年収、歳出は年間の出費と同じです。

皆さんのご家庭でも、計画を立ててお金を使っていると思います。市の予算も同じように、きちんとした計画や方針に基づいて使われます。

市の仕事は、下水道や道路を整備したり、産業の振興、教育や福祉、介護など多岐にわたります。皆さんの生活に直接関係があります。そしてこれらの事業にかかるお金は、皆さんの税金で賄われているわけですから、住みよいまちづくりのために有効に使っていかねばなりません。

三つに分かれる「予算」

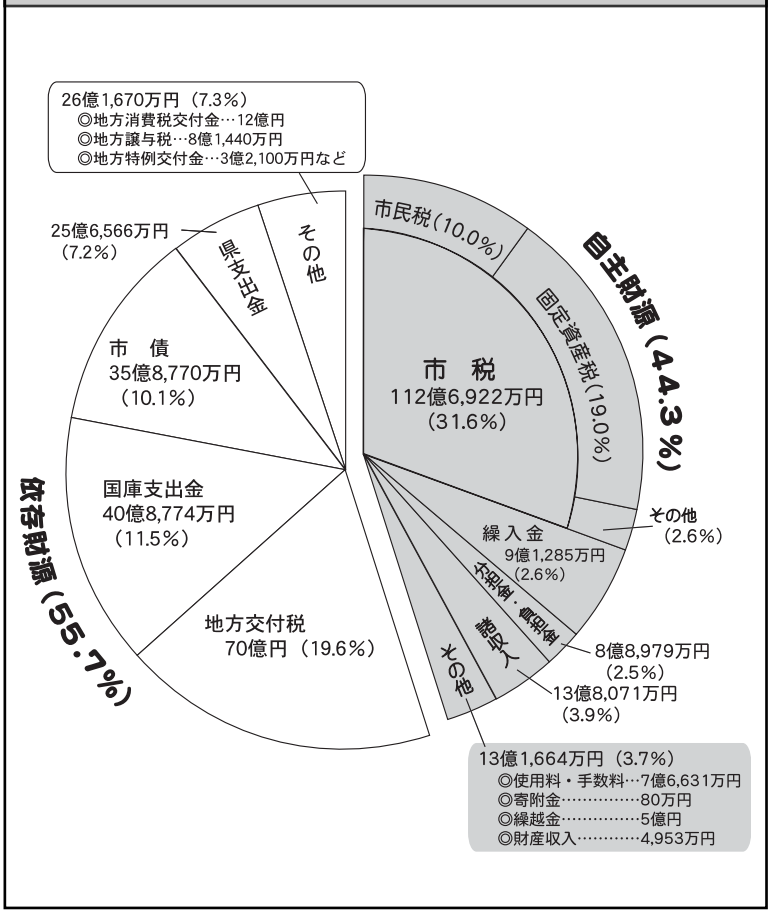
市の予算は、大きく三種類の「会計」に分けることができます。

まずは、市の行政運営一般に使われる「**一般会計**」と、国民健康保険や下水道事業など特定の目的のために事業を行う「**特別会計**」、水道や市立病院などの事業で収益をあげ独自に運営する「**企業会計**」があります。

八代市には、八つの特別会計と二つの企業会計があります。(三ページ表1、2参照)

これらすべてを合計すると、八代市の予算は、七百二十二億百八十四万八千円(昨年比・三%減)となります。

【図1】一般会計(歳入) 356億2,700万円



歳入について

今年度の一般会計の当初予算は、三百五十六億二千七百万円で、昨年と比べ二・四%の減額となっています。

財政のバロメーター 自主財源と依存財源

一般会計は、「自主財源」と「依存財源」の二つから成り立っています。この二つの違いを見てもみましょう(図1参照)。

自主財源
 市税や保育料・公営住宅使用料など、

ど、市が独自に集めることができるお金のことです。言い換えれば、皆さんのご家庭における給料のようなものです。

この中でも最も大きいのが市税で、全体の三・一・六%を占めています。

そのほか、預金利子や各種行政サービスに対する使用料などや、不動産などを売り払った収益などもあります。

依存財源

国や県から交付されるお金などのことをいいます。

中でも、国が集めた税金を、各自治体の財政状況に応じて配分される「地方交付税」が最も多く、全体の一

【表1】特別会計 349億9,860万円

会計名	予算額
二見白島簡易水道事業	312万円
国民健康保険	116億6,397万円
老人保健医療	113億3,009万円
交通災害共済事業	1,184万円
公共下水道事業	48億9,230万円
介護保険	69億7,582万円
八代圏域介護認定審査事業	5,089万円
日奈久温泉施設	7,058万円

九・六%を占めています。また、国や県が市に委託した仕事の事務経費や、市が行う事業に対しての補助など、用途の決まった「国庫支出金」や「県支出金」なども含まれます。

今年予定されている第二中学校の体育館・武道場改築事業などにも、国庫支出金が充てられます。

ほかに、市が大きな事業を行うとき、国などからお金を借りる「市債」があります。家計でいうと車や家の「ローン」のようなもので、原則として、道路や施設建設など長期的なまちづくりのために充てられます。

このように、市の予算も皆さんの

【表2】企業会計 15億7,625万円

会計名	予算額
水道事業会計	8億828万円
病院事業会計	7億6,797万円

歳出について

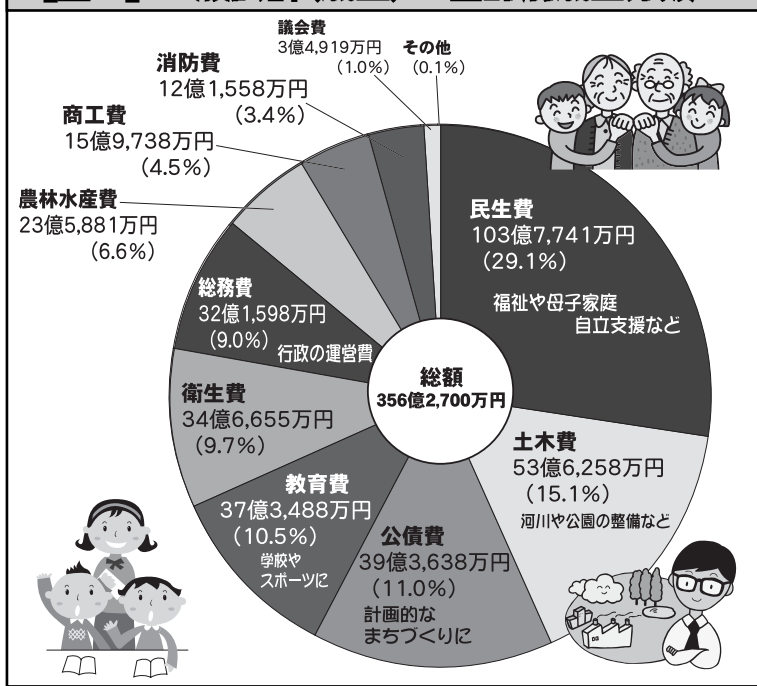
「ご家庭の家計と同じで、歳入は依存財源より自主財源の比率が高いほうが望ましいといえます。」

今年度の歳入は、昨年度に引き続き、国の「三位一体の改革」による影響を受け、地方交付税や国・県支出金などが大幅に減少する見込みです。よって、財源の確保は、一層厳しくなると考えられます。

予算はどのように使われているのでしょうか。

予算を使う目的で分析する「目的別

【図2】一般会計(歳出)～目的別歳出分類～



税金の使いみちが分かる ～目的別歳出分類～

図2「一般会計(歳出)目的別歳出分類」のグラフからは、予算が何を目的に使われているかが分かり、「まちづくりの方向性」が見えてきます。

民生費
高齢者や障害者への福祉対策や、子育て支援などに使われる民生費は、全体の二九・一%と最も大きい割合を占めています。

「歳出分類」と、使うお金の性質で分析する「性質別歳出分類」の二種類のグラフで説明します。

昨年と比べて、三億八千三百三十四万円の増額となっています。

「**主な使い道**」 養護老人ホームの入所に係る経費や配食サービスなどの高齢者への福祉対策費、児童手当、児童扶養手当、保育所運営費、放課後児童クラブなどの子育て支援、身体に障害のある人への支援や医療費助成など

土木費
次に多く使われるのが、道路・港湾・河川・公園の建設・改良などに使われる土木費で、全体の一五・一%を占めています。

昨年と比べて、四億五千八百六十六万円の減額となっています。

「**主な使い道**」 緑の回廊線整備や新八代駅周辺道路整備をはじめとする、市道の維持管理など

公債費
公債費とは、公共施設整備などのために借り入れたお金を返済する費用のことです。

教育費
小中養護学校、幼稚園、学校給食センター、公民館、図書館・厚生会館・博物館・総合体育館などの管理・運営費になります。

今年度は、一億七千二百四十八万円の増額となっています。

衛生費
ごみやし尿を処理したり、市民の健康診断や各種予防接種などに使われる費用です。

(次ページにつづく)

昨年と比べて、四億七千二百三万円が増額となっています。

〈主な使い道〉 市民の各種健診や乳幼児への医療費の助成など健康維持に関する費用 浄化槽汚泥等処理施設整備費用 樹木・剪定くずのリサイクルなど廃棄物に関する費用など

総務費

総務費とは、市役所の運営のための基本的な費用のことです。

昨年と比べて、六億七千四百五十五万円の減額となっています。

〈主な使い道〉 八代地域イントラネット運営費 国勢調査(五年毎)に係る経費など

農林水産業費

農林水産業の振興のために使われる費用です。今年度は、四億百五十五万円の増額となっています。

〈主な使い道〉 農業基盤整備費など 地産地消推進に係る経費など

商工費

産業の振興や観光施策などに使われる費用です。昨年と比べ、一千四百九十八万円の増額となっています。

〈主な事業〉 中小企業への資金融資や商店街活性化に係る費用など 全国花火大会やくま川祭りなどのイベントに係る費用など

そのほかにも、消防団の活動や八代広域行政事務組合の消防費負担金などを含む消防費、議会の運営費や議事録作成などを含む議会費などがあります。

**これからのまちづくりの目安
～性質別歳出分類～**

性質別に分類したものが、「性質別歳出分類」(図3参照)です。「義務的経費」、「投資的経費」、「その他の経費」の三つに分類することで、財政構造が見えてきます。

義務的経費

市議会議員や消防団、市政協力員の報酬などを含む人件費、生活保護費や乳幼児医療費助成・児童手当などがある扶助費、借入金返済のための公債費を合わせて、「義務的経費」といいます。これらは、市の運営のために必ず支払わなければならない費用で、全体の四七・六%を占めています。

投資的経費

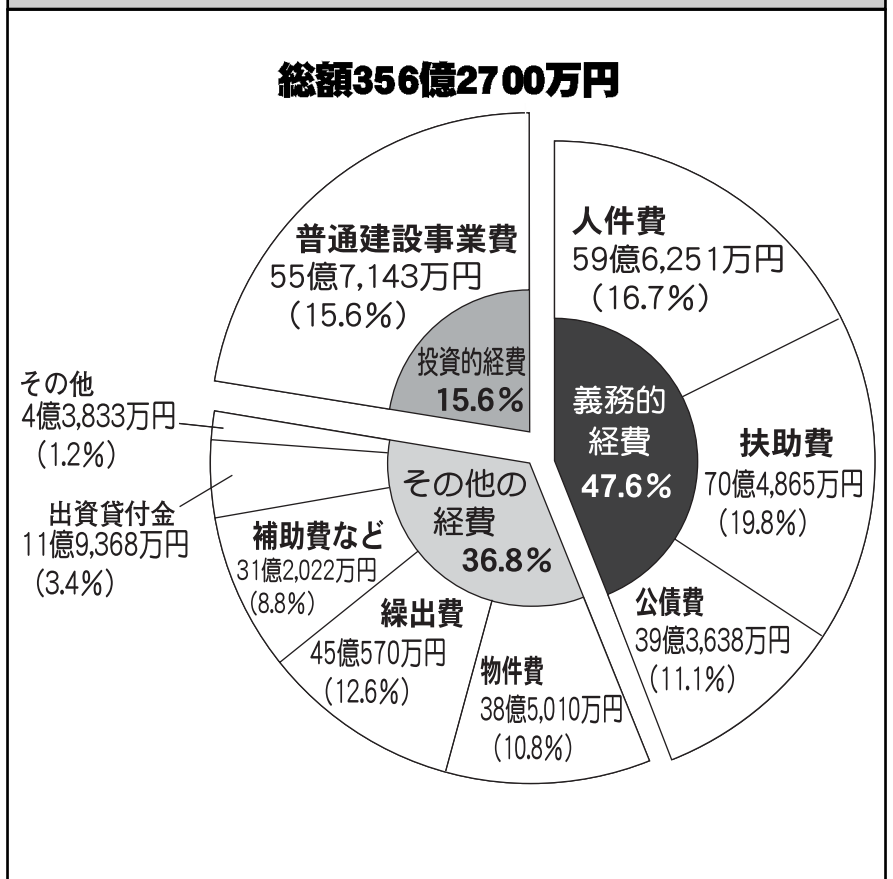
道路整備や施設建設など、まちづくりの充実に使われるもので、市民の皆さんの生活を豊かにするための経費です。

その他の経費

行政運営のための事務的経費などが含まれる物件費、一般会計から特別会計や企業会計への繰出金、ほか補助費や出資貸付金などが含まれます。

「投資的経費」に充てるために市債を多く発行すると、将来、借金返済のための「義務的経費」が増大することになります。そのため、長期にわたる財政計画がとて重要になります。

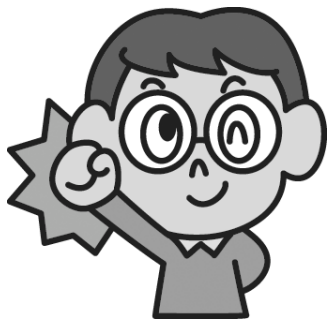
【図3】一般会計(歳出)～性質別歳出分類～



予算については、八代市のホームページでもお知らせしています。

行政の仕事は、皆さんの税金で賄われています。

「まちづくりは人づくり」ともいえます。住みよいまちと思える八代市にするためにも、みなさんも市政に積極的に参加しましょう。



問合せ 財政課 33-4106
zaisei@city.yatsushiro.kumamoto.jp